

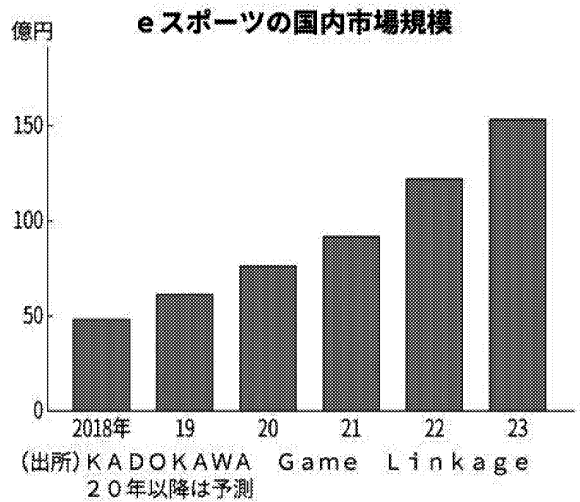
技「eスポーツ」を社内外の交流の場として活用する動きが広がっている。凸版印刷と電通グループのサイバー・コミュニケーションズ（東京・中央）は、企業交流のリーグを設立する。NTT東日本や大日本印刷も6月から3カ月間の企業対抗戦を開催。eスポーツの市場が拡大するなか、福利厚生

社内外交流にeスポーツ

印刷と電通グループのサイバー・コミュニケーションズ（東京・中央）は、企業交流のリーグを設立する。NTT東日本や大日本印刷も6月から3カ月間の企業対抗戦を開催。eスポーツの市場が拡大するなか、福利厚生

印刷と電通グループのサイバー・コミュニケーションズ（東京・中央）は、企業交流のリーグを設立する。NTT東日本や大日本印刷も6月から3カ月間の企業対抗戦を開催。eスポーツの市場が拡大するなか、福利厚生

印刷と電通グループのサイバー・コミュニケーションズ（東京・中央）は、企業交流のリーグを設立する。NTT東日本や大日本印刷も6月から3カ月間の企業対抗戦を開催。eスポーツの市場が拡大するなか、福利厚生



リーグでは、eスポーツの練習環境も整える。ディメンシアエンタテインメント（横浜市）が運営する企業に練習場所として提供する。凸版印刷は19年からeスポーツ

リーグ設立、福利厚生に

ポーツに本格的に取り組み始めた。19年3月には社内eスポーツの部活を作った。現在、約80人が所属し、終業後に会社の会議室で2週間に1回の頻度で練習に励む。直近は新型コロナウイルスの影響を受け、オンラインで活動している。企業が取組みeスポーツは福利厚生としての側面もある。物流倉庫を手がける大阪デリバリー（大阪府箕面市）はeスポーツの部活を18年に作ったところ、離職率が5割から1割程度に減少。競技を通じた交流が社員のケアにつながったとみている。

企業が取組みeスポーツは福利厚生としての側面もある。物流倉庫を手がける大阪デリバリー（大阪府箕面市）はeスポーツの部活を18年に作ったところ、離職率が5割から1割程度に減少。競技を通じた交流が社員のケアにつながったとみている。福利厚生

（平岡大輝）